

ヨリ其觀察點ノ何如ニ在リ。之ヲ混同視スルハ、直覺論者ニアラズシテ、反リテ反對論者ナルニハアラザルカ。

然ラバ吾人が正邪善惡ナルモノヲ直覺スルモノハ、果シテ何如ナル能力ナリトスルカ。嗚呼是レ他ナランヤ。吾人が所謂ル良心ト稱スルモノ實ニ是レナルノミ。請フ次項ニ於テコレガ畧説ヲ與ヘン。

(二)良心。良心トハ倫理ニ關スル人性一般ノ總名ニシテ、種々ノ作用ヲ有スルモノナリ。吾人ヲシテ正邪善惡ヲ直覺セシムルモノ、モトヨリ良心ノ作用ナリ。但シ此直覺ハ單ニ判知スルノミニアラズシテ、マタ同時ニ感別スルモノナリ。即チ或ル行爲ヲ善シトシ、他ノ行爲ヲ惡シトシテ褒貶シツ、アルハ、決シテ純粹ニ智力的ナルモノニアラズシテ、大ニ感性的ノ性質ヲ有スルコト、事實ニ徴シテ實ニ明白ナルモノトス。吾人ヲシテ義務ノ念ヲ有セシムルモノ、マタ良心ノ作用ナリ。吾人が或ル行爲ヲ以テ當ニ爲スベキモノト感シ、他ノ行爲ヲ以テ當ニ爲スベカラザルモノト感ズルモノ、ミナ實ニ此者ノ作用ニ出ヅ。當ニ之ヲ感スルノミナランヤ。吾人ヲシテソノ當ニ爲スベキモノヲ爲サシメントシ、ソノ當ニ爲スベカラザルモノヲ爲サ、ラシ

メントスルコトアルモ、モトヨリ良心ノ作用ナラズトイフベケンヤ。吾人が善行(自己又ハ他人ガ將ニ爲サントシ又ハ既ニ爲シタル)ニ關シテ快樂ヲ感シ、惡行ニ關シテ苦痛ヲ感ズルコトアルモノ、是レマダ良心ノ作用ニ外ナラザルナリ。

斯クノ如クナルヲ以テ、良心ヲ以テ單ニ智情意ノ一種又ハ二種トノミスルガ如キハ、單ニ其作用ノ一方面ノミヲ觀察シテ、他ノ方面ヲ以テ之ヲ良心以外ノ作用ナリトナサントスルモノニシテ、牽強附會ニアラズンバ、徒ニ其意義ヲ狹隘ナラシムルモノニ過キス。予ハモトヨリ此等ノ説ヲ贊スルコト能ハザルモノナリ。

智情意ノ各種ガ、ミナ種々ノ經驗、教育、境遇等ニヨリテ變更ヲ受クルコトアルハ、勿論ナリトセバ、良心モマダ此等ノモノニヨリテ變更ヲ被ルコトアルベキハ、モトヨリ之ヲ許容セザルベカラザルナリ。之ヲ一定、不變ニシテ極メテ神聖ナルモノトスルガ如キハ、モトヨリ僻説ノ甚シキモノト知ルベシ。サレバ外界ノ勢力何如ニヨリテハ、其作用ヲシテ非常ニ強盛ナラシムルコトヲ得ベキト同時ニ、マタ之ヲシテ非常ニ微弱ナラシムルコトヲ得ベキヤ、決シテ疑フベキニアラザルナリ。サレドモ予ハ茲ニ附言ス。如何ニ其作用ヲシテ微弱タラシムルコトヲ得ルニモセヨ、吾人ノ心

的作用が病的トナルカ若シクハ全ク斷絶スルコトアルカニアラザルヨリハ之ヲ全滅スベキモノト考定スルヲ得ベキ何タル論據ヲモ有セザルモノナリト。良心ニシテ已ニ斯クノ如ク變化シ得ベキモノナリトセバ、社會ヲ異ニシ人種ヲ異ニシ、又時代ヲ異ニスル等ノコトアラフニハ、同一ナル行爲ニ對スルモ、必ズシモコレニ同一ナル倫理的價值ヲ附與スルコトナカルベキハ、モトヨリ有リ得ベキコトト知ラザルベカラザルナリ。東西ノ人種ガ倫理上ノ觀念ヲ異ニシ、文野ノ人民ガ相互ニ喫驚スルガ如キ行爲上ノ意見ヲ有シツ、アルガ如キハ、モトヨリ奇怪ナルコトニアラザルヲ見ルベキナリ。然ルニ昔時ノ道德家ハ、同一ナル行爲ハ悉クミナ常ニ同一ナル倫理的價值ヲ有スベキモノト、輕信シ、自己ノ倫理的觀念ト異同セル觀念ヲ有スルモノ、如キハ、悉ク之ヲ蠻人若シクハ人非人ナリト見做シタルモノナリ。是レ唯ダ彼等ノ良心ガ命令スル所ノ嚴格ニシテ、勸カスベカラズ、疑フベカラザルガ如クナルヲ見テ、爲メニ此說ヲナサザルコトヲ得ザリシニヨルナルベシ。モトヨリ淺見トイフベシ。

人或ハ言ハシ、良心ニシテ斯クノ如キモノナラフニハ、各個人ノ良心ハ、ミナ相互ニ

倫 理 學

倫 理 學

異同スベキモノナルヤ。モトヨリ疑フベクモアラズ、從ヒテ正邪善惡ナルモノハ各個人ニヨリテソノ認ムル所ヲ異ニスベキモ、マタ免レ難キ運命ナルベシ。然モ猶ホ良心ヲ以テ正邪善惡ヲ覺知シ得ベキモノトナスヲ得ルカト。然リ、予ヲシテ嚴格ナル意義ノ答辯ヲナサシメ、バ各個人ノ良心ハ、モトヨリ論者ノ言ノ如クナルコトヲ許サ、ルベカラズ。サレドモ予ガ單ニ吾人ノ良心トイヘル以上ハ、特殊ナル或ル一個人ノ良心ヲ指セルモノニアラザルト同時ニ、マタ必ズシモ全般人ノ良心ヲ指セルモノニモアラザルナリ。唯ダ特殊ナル勢力ノ爲メニ變化セラレザル純粹ナル良心ヲ指セルニ過ギザルナリ。彼ニモ特殊ノ良心アリ、此ニモ特殊ノ良心アリトセバ、彼此ニ通シタル良心ノ良心タル所以ノモノナカルベカラザルヤ、勿論ナラフ。斯クノ如キヲ單ニ良心トハ稱シタルモノナリ。サレドモコハ單ニ概念タルニ過ギス。實在セルモノハ、モトヨリ各個人ノ良心ナリ。即チ種々ノ特殊ナル勢力ニヨリテ變化セラレタル良心ナリ。サレバ此等ノ良心ガ教示スル所ハ、モトヨリ彼此不同ナルコトアラフハ、是非トモ之ヲ許サザルベカラザルナリ。サレドモマタ彼此ノ間ニ於テ一致シタル點ノ存在セルコトモ、同シク之ヲ否定スベカラザルナリ。然ラバソノ相

一致スルモノハ、何ゾヤ是レ即チ特殊ノ勢力ヲ被リタル個々ノ良心ガ教示スルモノニアラズシテ、實ニ良心ノ良心タル所以ノモノガ認得スル所ノモノニアラズトイフベクニヤ。サレバ單ニ良心トイヘルコトヲ以テ此種ノモノナリトセバ、個人ニヨリテ正邪、善惡ノ判斷ニ異同アリトイフガ如キハ、直覺教ノ標準說ニ對シテハ、殆ド意義ナキ非難タルニ歸シ去ルベキモノトイフベシ。

サレドモ論者ハ猶ホ之ヲ難マテ曰ハシ、或ル社會ニ於テ彼ノ良心ノ作用ニモアラズ、此ノ良心ノ作用ニモアラズシテ、彼此ニ普通ナル作用ヲ以テ之ヲ良心ノ良心タルモノ、作用ナリトスルガ如キハ、マタ必ズシモ妥當ナリトイフベカラズ。是レマタ其社會ノ特別ナル勢力ヲ被リタル良心ノ作用ナルニハアラザルカ。何トナレバ野蠻社會ノ人民ニ普通ナル良心ノ作用ト文明社會ニ普通ナル良心ノ作用ト、必ズシモ同一ナルコト能ハザルモノ、是レ即チ一社會ニ於ケル彼此ニ普通ナル良心ノ作用ヲ以テ直チニ之ヲ良心ノ良心タルモノ、作用ナリトスルヲ得ザル所以ナルベクレバナリト。此言理アルニ似テモトヨリ非ナリ。其故他ニアラズ。智、情意ノ發達シ得ルト等シク、良心ノ作用モマタ發達スルコトアルヲ知ラザルベカラズ。サレバ

野蠻社會ノ良心ト文明社會ノ良心トハ、其發達ノ度ニ於テモトヨリ異同アルヲ免レザルナリ。從ヒテ野蠻社會ニ於ケル一般人ニ普通ナル良心ノ作用ト文明社會ニ於ケル一般人ニ普通ナル良心ノ作用トハ、其間ニ於テ逕庭スル所ノ存スベキハ、モトヨリ論外ノ事ナリト知ルベシ。サレドモ二者マタ共ニ良心タルモノ、作用ノミ、唯ダ一ハ發達セザル良心ノ作用ニシテ、他ハ發達シタル良心ノ作用タルニ過ギザルナリ。己ニ然リトセバ、兩社會ニ於ケル彼此ニ普通ナル良心ノ作用ガ相異同スルコトアルガ如キハ、モトヨリ問フヲ要セザルモノナリ。唯ダ其社會ニ於ケル一般人ニ普通ナル良心ノ作用ヲ以テ之ヲ其社會ニ於ケル良心ノ良心タルモノ、作用ト認定シテ、毫モ不可ナルノ點アルヲ見ザルナリ。予ハ斯クノ如キ良心ノ良心タルモノハ、正邪、善惡ヲ指示スルニ決シテ誤ルコトナキヲ斷言ス。

サレドモ前既ニ言ヘルガ如ク、一個人ノ良心ハ必ズシモマタ他人ノ良心ト全然符合スベキモノトイフベカラズ。故ニ一ノ認ムル所ガ他ノ認ムル所ト相違スルコトアラシモ、理論上ニ於テハ、モトヨリ之ヲ是認セザルコトヲ得ザルモノナリ。サレドモ同一社會ノ人ニ在リテハ、其相違ナルモノハ、極メテ微々タルモノナルコトヲ記

臆セザルベカラズ。一人ノ善トスル所ヲ以テ他人ガ之ヲ惡トナスガ如クアルモノ
 ニアラザルナリ。吾人が同一世界ニ於テ、特ニ同一社會ニ於テ、其行爲ヲナスヤ、殆
 ミナ相類似シタルモノナリ。故ニ行爲ニ關係スル吾人ノ智、情、意ニ至リテモ、マ
 タ自ラ相類似シツ、アルモノナリ。サレドモ正邪、善惡ニモ、マタ程度ノ存スルモノナル
 ヲ以テ、甲乙丙丁ノ認ムル所ガ、其程度ニ於テ多少ノ異同スルコトアルガ如キハ、モ
 トヨリ免レ難キ困難ナルノミ。サレバ甲ガ認メテ五六位ノ善トナスモノ、乙ニ在リ
 テハ之ヲ七八位ノ善トナスコトアルベク、丙ガ認メテ最小ナル善トナスモノ、丁ニ
 在リテハ之ヲ善惡ニ無關係ナルモノトナスガ如キコトアラシム、モトヨリコレ
 ルベキコトト許容セザルベカラザルナリ。サレドモ斯クノ如キハ、微々タル程度上
 ノ差異タルニ過ギズシテ、万般ノ事物ニ對シテ吾人ノ多ク免ルベカラザル運命ヲ
 ナセルモノナリ。故ニ大體ニ於テ之ヲ論ゼンニハ、一社會ニ於ケル各個人ノ良心ハ、
 ソノ病的ナルモノニアラザル限リハ、其作用ニ於テハ彼此殆ド同一ナリトイヒテ
 決シテ不可ナルコトナカルベキヤ、予ノ斷言スルニ躊躇セザル所ナリ。
 斯クノ如ク論ヲ來レバ、個々ノ良心ガ認ムル所ハ、同一社會ニ於ケル、一般人ニ普通

ナル良心ノ作用ト必ズシモ相違スル所アリトスルニ足ルモノナカルベキナリ。唯
 ダ精密ナル研究ヲナストキニ、多少ノ程度ヲ異ニスルコトアルヲ發見スルニ
 過ギザルナリ。否ナ、其相違ト雖モ必ズシモ常ニ存在スベキモノトイフベカラズ、時
 ニ或ハ二者ノ一致スルコトアラシム、マタ有リ得ベカラザルニアラザルナリ。夫レ
 斯クノ如シ。故ニ予ハ改メテ論斷セン、予ハ前ニ良心ノ作用トハ其社會ニ於ケル一
 般人ニ普通ナル良心ノ作用ナリト見ルベシトシタリト雖モ、コハ決シテ各個人ノ
 有スル良心ノ作用ト大差アルモノニアラズシテ、時ニ或ハ全ク一致スルモノトス
 ベキモノナルヲ以テ、吾人ハ各個人ノ良心ヲ以テ容易ニ正邪善惡ヲ判別シ得ベキ
 モ、トイヒテ、モトヨリ不可ナルコトコレナキモノナリトサレドモ、予ハ茲ニ次
 ノ二事ヲ附言ス。曰ハク、(一)彼ノ一般人ノ良心ト非常ニ相違セル特異ナル倫理的能
 カノ如キハ、モトヨリ病的ノモノニ過ギザルヲ以テ、此種ノモノハ之ヲ常態ナル良
 心ナリトスルヲ得ザルモノナリ。(二)吾人が事物ヲ認識又ハ感受スルニ當リテヤ、人
 ニヨリテ多少ノ程度ヲ異ニスルヲ免レザルモノ一般ナルヲ以テ、善惡ノコトニ就
 キテモ、マタ此事アルコトヲ注意セザルベカラザルナリ。

良心ノ事ニ就キテハ猶ホ詳密ニ論辯スヘキモノ固ヨリコレアリト難モ今ハ暫クコレニ及バザルベシ是レヨリ義務ノ事ニ就キテ一言セソ。

(三)義務 予ハ前ニ良心ノ事ヲ論ズルニ當リテ吾人が或ル行爲ヲ以テ當ニ爲スベキモノト感シ他ノ行爲ヲ以テ當ニ爲スベカラザルモノト感ズルモノ、ミナ實ニ此者(即チ良心)ノ作用ニ出ヅト言ヘリ然リ、已ニ良心ナルモノアリトセバ、吾人ハ必ズ倫理的の法典ニ羈縛セラル、ノ念ヲ有セザルコトヲ得ザルモノニシテ、吾人が義務ノ念又ハ情ト稱シツ、アルモノハ、實ニ此者ヲ指セルニ在リ。此念若シクハ情ニ對スルモノ(即チ良心)ガ當ニ爲スベシトナシ、又ハ當ニ爲スベカラズトナスコトハ、言フマデモナク、吾人ノ常ニ義務ト稱シツ、アルモノトス。

吾人が事實上ニ於テ此種ノ念ヲ有シツ、アルノ點ハ、モトヨリ明確ナル現象ナルヲ以テ、如何ナル論者ト雖モ、之ヲ否定シ去ランコトヲ企ツルモノナシト雖モ、其起原ノ如何ニ關シテハ、學者ニヨリテモトヨリ異説ナキコト能ハザルモノナリ。故ニ或ル論者スベンセル氏(バイン氏等)ノ如キハ、此念ノ起原ヲ以テ單ニ外界ノ制裁ヲ恐怖スルコトニ歸スルモノアリト雖モ、予ハ此説ノ如キハモトヨリ精確ナルモノ

トイフベカラザルベキヲ信ズ。義務ノ念モ其原始的情態ニ於テハ、其勢力ノ極メテ空漠タルモノタルベキハ、モトヨリ當然タルニモセヨ、コハ唯ダ良心ノ作用ガ未ダ十分ニ發達セザルカ爲メニ、此事アルモノニ過キザルヲ以テ、良心ノ發達スルニ伴ヒテ、漸時此念ノ明亮ニ發現セラル、ニ至ルベキハ、マタモトヨリ當然ノコトナルヲ知ラザルベカラザルナリ。サレバ良心ノ作用ガ外界ノ事情ニヨリテ相當ノ變化ヲ受クルコトアルト同時ニ、義務ノ念ガマタコレニヨリテ多少ノ影響ヲ被ルベキモ、モトヨリ論スルノ要ナキモノニシテ、論者ノ説クガ如キ外界ノ制裁ヲ恐怖スルコトノ如キモ、大ニ此念ノ發達ニ助力スルコトアルベキハ、モトヨリ論外ノコトナルヲ許容セザルベカラザルナリ。サレドモ予ハ單ニ此種ノ現象アルヲ見テ、此念ノ起原ヲ以テ全ク外界ノ經驗ニ在リト考フルガ如キハ、モトヨリ獨斷ノ甚シキモノナリトイフニ猶豫セザラントス。予ハ今茲ニ其理由ヲ詳述スベキ餘地ヲ有セザルヲ以テ、唯ダ左ノ一言ヲ洩シテ、諸氏ノ推究ニ一任セザルベカラザルナリ。

義務ノ念ノ起原ヲ以テ全ク經驗ニアルモノトス。コトト同一ノ論法ヲ以テ、良心ノ起原モマタ全ク經驗ニ在リトセザルベカラザルベク(功利論者ハ現ニ此

事ヲ明許シツ、アルモノナリ。ミル氏ノ所説ニ就キテ之ヲ見ルベシ。若シ又良心ノ起原ヲ以テ、全ク經驗ニアルモノトスベクンバ、以テト同一ノ論法ニヨリテ、吾人ノ心的作用モ、其起原ハ全ク經驗ニ在リトセザルコトヲ得ザルベキナリ。サレドモ斯クテハ始メテ經驗ナルモノヲナスハ、果シテ何如ナル能力ナリトスルカ、吾人ハ經驗ヲナスベキ能力ノ先在セズシテ、猶ホ經驗ナルモノヲナシ得ベシトイフガ如キ不條理ナルコトヲ考へ得ベキカ。予ハ、絶對的ナル經驗論ノ到底成立シ難キコトヲ認ムルト共ニ、徵驗ヲ經ザル推斷ノ兎角ニ誤謬ニ陥リ易キコトヲ識ルモノナリ。論者ノ所説ノ如キハ、實ニ此種ノモノニアラザルナキヲ得ベキカ。要スルニ良心ナルモノニシテ、曩キニ述ベタルガ如ク、倫理ニ關スル心的作用ノ總名ナリトセバ、其發達ノ如何ニヨリテ、其作用ニ大小、強弱ノ差異アルベキハ、勿論ナリト雖モ、兎モ角モ吾人ニ生得的ナルモノトスベキコトノ勿論ナルモノニシテ、之ヲ許容スルト同時ニ、義務ノ念ナルモノモ良心其自身ノ性質ニヨリテ、必ズ表示セラルベキモノナルガ故ニ、マタ決シテ單ニ經驗ノミニ起因スルモノトナスベカラザルノ實ニ明確ナルヲ悟ルベキナリ。

吾人ハ義務ヲ分チテ、之ヲ積極的及ビ消極的ノ二種トスルヲ得ベシ。吾人ノ當ニ爲スベキモノハ、即チ積極的義務ニシテ、實ニ獎勵的ノ性質ヲ有スルモノナリ。吾人ノ當ニ爲スベカラザルモノハ、即チ消極的義務ニシテ、實ニ禁制的ノ性質ヲ有スルモノトス。吾人ノ義務ナルモノハ、モトヨリ此等二種ノホカ、決シテコレアルベキモノニアラザルナリ。サレドモ義務ハ、マタ學者ニヨリテ、完全及ビ不完全ノ二種ニ區別セラル、コトアリ。ソノ完全義務トハ、時機ニ關係ナク、吾人ヲ羈縛スルモノヲ云ヒ、不完全義務トハ、時機ニヨリテノミ、吾人ヲ羈縛スルモノヲ云フニ在リ。サレドモコハ必ズシモ美名ナリトイフベカラズ。何トナレバコハ義務ノ適用セラル、時機ノ如何ニヨリテ區分シタルモノニ外ナラズト雖モ、此等ノ名稱ヲ以テハ義務ノ性質上ニ於ケル完全又ハ不完全ナルコトヲ指示セントスルト同一ナルニ歸スルベクレバナリ。義務ノ細別ノ如キハ不importantナルヲ以テ、茲ニ之ヲ論セザルナリ。

全般人ニ普通ナル義務ノ存在スルハ、モトヨリ論ズルノ要ナシト雖モ、各個人ノ義務ハ、必ズシモミナ同一ナルベキモノニアラザルナリ。各個人ハ、其造構又ハ境遇等ニ於テ、相互ニ異同シツ、アルモノナルヲ以テ、現時ニ於ケル各個人ノ權能内ニ存

スルコトニアラザルヨリハ、決シテ其人ノ義務ナリトスベキニアラザルナリ。此事ニ就キテモ、猶ホ一二ノ論ズベキコトアリト雖モ、今コレニ及バザルベシ。義務ナルコトニ對シテハ、權利ナルコトアリテ、コレニ就キテマタ多少ノ論スヘキモノナキニアラズト雖モ、必ズシモ重要ナルモノニアラザルヲ以テ、今マダコレニ及バス。

(四) 德行ノ主義 德行ノ主義ハ、吾人ガ唯ダ其良心ノ命令ニ敬服シテ、行爲ヲナスベキニ在ルノミ、決シテ他ノ主義アルニアラザルナリ。

人或ハ利己主義ニヨリテ行爲ヲ指導セヨトイフ。予ハモトヨリソノ非ナルコトヲ認ムルモノナリ。何トナレバ吾人ハモトヨリ社會的動物ナルヲ以テ、決シテ、決シテ自己ヲノミ主トシ得ベキモノニアラザレバナリ。

人マダ利他ナルコトニヨリテ行爲ヲ導クトイフ。予ハマタ此說ノ非ナルコトヲ認ムルモノナリ。何トナレバ他人ヲ主トスルトキハ、自己ヲ忘ル、ニ至ルベク、自己ヲ忘ル、トキハ、遂ニ其目的タル他人ヲ主トスルコトスラ、之ヲ行フコト能ハザルニ至ルベクレバナリ。

論者アリ、マダ利己主義ト利他主義トヲ折衷スベシ、是レ德行ノ主義ノ最上ナルモノナリトイフ。此說是ニ似テ而モ行ヒ難キモノナリ。吾人ハ何ヲ標準トシテ、能ク之ヲ折衷スルヲ得ベキカ、利己ノ行爲ト利他ノ行爲トニシテ、明白ナリトストモ、何如ナル行爲ガ果シテ之ヲ折衷シタル主義ニ適合シタルモノトスルヲ得ベキカ、適當ニ二者ヲ折衷セヨト說クガ如キハ、モトヨリ漠ノ漠タルヲ免レサルモノナリ。若シ其適不適ヲ知ルベキ標準ニシテ他ニ存在セルモノアリトセバ、吾人ハ寧ロコレニヨリテ其行爲ヲ指導スルノ確實ナルニ如カザルベキナリ。言フベクシテ行フベカラザル主義ノ如キハ、モトヨリ行爲ノ主義トナスベカラザルナリ。

利己利他歸スル所同一ナリ、孰レヲ主義トスルモ、不可ナルコトナシト。此說マタ詭辯家輩ノ唱フル所ナリ。予ハマタモトヨリ此說ノ探ルベカラザルコトヲ斷言ス。利己及ヒ利他ハ、モトヨリ其主トスル所ヲ異ニス。故ニ一方ヲ主トスレバ、他方ヲ從トシ、一方ヲ從トスレバ、他方ヲ主トスベシ。主トナシ、從トナスニ從ヒテ、或ハ利己主義トナリ、或ハ利他主義トナリ、決シテ兩主義ニ適合シタルモノトナルベカラズ。故ニソノ歸スル所ハ反リテ無主義タルト一般ナルニ至ランノミ、若シ他ニ之ヲ調整ス

ベキ確實ナル主義ノ存スルモノアリトセバ、何ゾコレニヨリテ吾人ノ行爲ヲ導ク
ト言ハザル。之レ予ガマタ此說ニ服シ難キ所以ナリ。
社會一般ノ功利ヲ目的トシテ行爲ヲ導クトイフガ如キモ、モトヨリ不可ナリ。何ト
ナレバ何如ナルコトガ果シテ社會一般ノ功利ナリヤ否ヤヲ確認スルコトノ容易
ナラザルソミナラズ、功利的行爲ハ必ズシモ倫理的ナリトスベキモノニアラザル
ヲ以テ、モトヨリ之ヲ德行ノ主義トスルコト能ハザレバナリ。
予ハ悉ク此種ノ所說ヲ列舉シテ、之ヲ吟味スルノ煩ヲ辭シ、是レヨリ予ガ說ニ關シ
テ、唯ダ一言スル所アラント欲ス。

予ハ前ニ吾人ハ唯ダ良心ノ命令ニ敬服シテ其行爲ヲナスベシト言ヘリ。然リ、良心
ナルモノハ、實ニ行爲ノ第一原理ヲ教示スルモノナリ。吾人ノ當ニ爲スベキモノヲ
示スト同時ニ、ソノ當ニ爲スベカラザルモノヲモ教フルモノナリ。吾人ハ能クソノ
教示スル所ニ從ヒテ、始メテ德行ナルモノヲナシ得ベキモノトス。豈ニ他ニ德行ノ
主義トスベキモノアラシヤ。人或ハ此主義ニヨレル行爲ノ間々他ノ主義ニヨレル
ト全ク同一ナルガ如キモノアルヲ見テ、マタ他ノ主義ヲ是認シ得ベキモノト考フ

ルモノナキニアラザルベシ。サレドモ其行爲ナルモノハ利己ナルガ爲メニナセル
ニアラズ、利他ナルガ爲メニナセルニアラズ、功利ナルガ爲メニナセルニアラズ、又
其他ノ主義ニ適シタルモノナルガ爲メニナセルニアラザルナリ。單ニ良心ノ命令
ナルガ爲メニ、之ヲナセルニ過ギザルナリ。故ニ以上ノ如キ場合アルニモセヨ、コハ
唯ダ此主義ニヨレル行爲ガ、他ノ主義ニヨレルモノト偶然タル一致ヲナセルニ外
ナラザルモノニシテ、モトヨリ之ヲ以テ他ノ主義ヲモ是認シ得ベキモノト考ヘ得
ベキモノニアラザルナリ。是レ予カ德行ノ主義ハ唯ダ良心ノ命令ニ敬服スルニ在
ルノミトイフ所以ナリ。良心主義若シクハ良心崇拜主義ノ語、以テ此主義ノ名稱ト
スルニ適當センカ。

此主義ノ正發ナル別ニ他ノ説明ヲ與フルノ要ナカルヘシ。彼ノ利己、利他ノ折衷主
義ノ如キモ、何ヲ標準トシテ之ヲ折衷スベキカ、何如ナル場合ニ於テ何如ナル行爲
テナスベキカ、等ノコトニ至リテハ、其主義其自身ノ明示スル所ニアラズシテ、知ラ
ズ識ラズ、良心ノ教示スル所ヲ採用セシコトヲ許容シツ、アルモノナリ。此主義ニ
シテ之ヲ許容スルコトナシトセンカ、唯ダ言フベクシテ行フベカラザルノ主義タ

ルニ歸セシノミ。是レマタ以テ良心主義ノ徳行ノ根本主義タルコトヲ證シツ、アルヲ見ルベキナリ。

サレドモ予ハ茲ニ一ノ注意スベキモノアリ。予ハ前ニ良心ヲ説明シテ、精密ニ論辯スルトキハ、各個人ノ良心ハ相互ニ多少ノ異同アルコトヲ免レサルコトヲ説ケリ。故ニ各個人ハ、自己ノ良心ヲ以テ適當ニ完全ナル進化、發達ヲナセルモノトシ、ミ固信スルコトヲカレ、時ニ或ハ他人ノ良心ヲ觀察シ又或ハ聖賢ノ良心ニ注意シ、以テ自己ノ良心ノ曲否何如ヲ吟味センコトヲ忘却スベカラザルナリ。自己ノ良心ヲ崇拜スルト同時ニ、此種ノ小心ヲ有スベキハ、徳行ノ主義ニ免ルベカラザル副則ナルコトヲ諒知スベキモノトス。

倫 理 學

世ノ論者往々良心ノ存在ヲ確認スルニモ拘ラズ、徳行ノ主義ヲ以テ、之ヲ其外ニ求めント企ツルモノアリ。予ガ以上ノ贅説ヲナセルモノ、實ニコレガ爲メノミ。

(五)善事及ビ快事。善事ト快事トハ、モトヨリ多少ノ關係ナクンバアラズ。功利論者ガ快事ハ是レ善事ナリ、善事ハ是レ快事ナリトノ説ヲ唱ヘタルモノ、モトヨリソノ據ル所ナシトイフベカラザルナリ。サレドモ善事ト快事トハ斯クノ如キ同一ナル

倫

理

學

外延ヲ有セルモノニアラズ。左ニ少シク其理田ヲ辯ゼン。

抑モ善トハ行爲ノ價值ヲ指セルモノナリト雖モ、快トハ吾人ノ精神ニ生スル或ル心的情態ヲ指セルモノナリ。然ルニ此心的情態ヲ生セシムルモノハ、必ズシモ善行(即チ善ナル名稱ヲ下シ得ベキ價值アル行爲)ニノミ限りタルモノニアラズシテ、モトヨリ他ニ種々ノ原因アルヲ見ルモノナリ。山川ニ遊ビ、飲食ヲ美ニシ、車馬ニ乗り、家屋ヲ建テ、運動、入浴、園藝、等ヲナスガ如キ、ミナ此種ノ心的情態ヲ生ゼザルニアラザルナリ。サレドモ吾人ハ此等ノ事ヲ以テ、之ヲ善事ナリト稱シツ、アラザルヤ、モトヨリ事實ノ明證スル所ナリ。是レ即チ快事ハ是レ善事ナリトイフノ不可ナルコトヲ明示シツ、アルモノトイフベシ。

吾人ハマタ快樂ニ種類アルコトニ留意セザルベカラズ。倫理的ナルモノ、不倫理的ナルモノ、又ハ善惡ニ無關係ナルモノ、存在セルコトヲ忘却スベカラザルナリ。已ニ此等ノ種類アリトセバ、單ニ快樂トイヘルコトノ必ズシモ倫理的ナルモノニ限ラザルベキハ、モトヨリ當然ノコトナリト了知スベキモノナリ。從ヒテ快事ナリト雖モ、必ズシモ之ヲ善事ナリト見ルベカラザルヤ、殆ド細辯スルヲ要セザルベシト

考フ然ラバ何如ナル快事ヲ以テ之ヲ善事ナリトイハントスルカ。是レ豈ニ他ナラ
 ンヤ倫理的ナル快事即チ是レナルノミ。良心ガ満足シテ快樂的ナル心的情態ヲ生
 ズルガ如キ行爲ノミ之ヲ善行ナリトスベキノミ。其他ノ行爲ニ在リテハ如何ニ快
 樂的ナルコトアリトストモモトヨリ之ヲ善事ナリトスルヲ許サザルナリ。
 然ラバ善事ハ即チ快事ナリトイフヲ得ベキカ然リ或ル點ヨリ論ヲタランニハ善
 事ノミナ快事タルベキヤ論ナシ。サレドモソノ快事ナリトイフハ良心ノ満足ヲ得
 テ倫理的ニ快ナリトノコトヲイフニ在リ。決シテソノ種類ヲ論セズトイフニアラ
 ザルナリ。サレバ善事ヲナスニ當リテヤ必ズ良心ノ満足ヲ感スルコトアルニ相違
 ナシト雖モ時トシテハコレト共ニ生慾等ノ爲メニ反リテ不快ナルコトヲ感スル
 コトナキニアラザルナリ。世人ガ往々有意的良心ノ命令ニ違背スルコトアルガ如
 キハ實ニコレガ爲メナルニ外ナラサルナリ。今單ニ此點ノミヨリ考察シタランニ
 ハ善事ト雖モ必ズシモ快樂的ナルモノニアラズシテ反リテ不快的ナルコトアリ
 トイフモ決シテ過言ナリトイフベカラザルベシ。
 夫レ斯クノ如シ故ニ善事ヲ以テ漠然快事ナリトイフガ如キハモトヨリ精確ナル

モノニアラズト雖モ又之ニ對シテ善事ハ快事ニアラズト難スルガ如キモモトヨ
 リ同一轍ノ議論タルヲ免レザルモノト知ルベキナリ。故ニ予ハ茲ニ裁斷シテ曰ハ
 ハン善事ハ即チ倫理的ナル快事ナリ。吾人ノ良心カ満足スル所ノ或ル一種ノ快事
 タルヲ失ハザルモノナリト。
 以上畧述セルガ如クナルヲ以テ快事ハ即チ善事ニシテ善事ハ即チ快事ナリトス
 ルノ不可ナルコト明白ニシテ倫理的ナル快事ハ即チ善事ニシテ善事ハ即チ倫理
 的ナル快事ナリト知了セザルベカラザルモノトス。世ノ論者往々牽強附會ノ辯ヲ
 以テ前説ヲ主張センコトヲ企ツルモノアリト雖モ予ハ未ダソノ終ヲ失敗ニ告グ
 ザルモノアルヲ發見セザルナリ。
 予ハ猶ホ少シク快樂ノコトニ就キテ一言スル所ナカルベカラズ。快樂ヲ求メント
 スルハ吾人ノ性情ニ出ヅルモノナルヲ以テ快樂ニ倫理的ナルモノアリトセバ吾
 人ハソノ倫理的ナル快樂ヲ求メントシテ爲メニ善行ナルモノヲ行フコトアルベ
 キハモトヨリ當然ノコトニシテ決シテ羞耻スベキコトニアラザルモノトス。論者
 或ハ快樂ノ爲メニ獎勵セラレタル行爲ノ如キハ毫モ倫理的ナル價值アリトスル

ヲ得ズトスルモノアリト雖モ、コハ快樂ニ種類アルコトヲ辨セザルモノニシテ、モトヨリ僻説タルヲ免レザルモノナリ。彼ノ良心ナルモノハ、前已ニ言ヘルガ如ク、倫理ニ關スル心的作用一般ノ總名ナルヲ以テ、モトヨリ快樂ノミノ爲メニ活動スルモノニアラサルコト萬々ナリト雖モ、此種ノ快樂ヲ多ク經驗スルト否トニヨリテハ、其作用ニ相當ノ異同ヲ生スベキヤ、モトヨリ有リ得ベキコトト諒知セザルベカラザルナリ。彼ノ毫モ此種ノコトヲ許サズシテ、良心ヲ以テ快樂ナルコトニハ絶對的ニ無關係ナルモノト固信スルコトノ如キハ、予ハモトヨリ之ヲ獨斷ナリトイフニ躊躇セザルモノナリ。

以上ノ所述ハ、單ニ行爲者ノミノコトニ就キテ論マタルモノナリト雖モ、善事ハ單ニ行爲者ノミノ快事ト關係アルニアラズシテ、其行爲ノ影響スル他人ノ快事トモ相當ノ關係ヲ有スベキハモトヨリ當然ノ事ナリ。サレトモ此等ノ點ニ至リテハ、以上ノ所述ニ基キテ、之ヲ推考センコトノ容易ナルベキヲ以テ、茲ニコレニ論及セザルモノト知ルベキナリ。コレト等シク善事ト快事トニシテ上述ノ如キ關係アルモノトセバ、二者ニ對立セル惡事ト苦事トニ於テモ、コレト同様ナル關係ノ存スベキ

ノマタ茲ニ詳述スルノ必要ナカルベシト考フ。是ノ予ガ本項ニ於テ單ニ善事及ビ快事ヲ論シテ、惡事及ビ苦事ノコトニ及ハザリシ所以ナリ。

(六) 意 思 及 結 果 行爲ノ褒貶ニ關シテハ、或ル論者(一般ノ功利論者ノ如キ)ガソノ生出シタル結果ニノミヨルヲ正當トスルニモ拘ラズ、他ノ論者(カント氏等ノ如キ)ハ之ヲナシ、意思(茲ニハ動機ヲモ包含シタル廣キ意義ニ使用ス)ニノミヨルヲ正當トスルモノアリ。二者ノ所説、果シテ孰レカ正當ナル。予ハ共ニ之ヲ偏僻ナリト考フ。請フ左ニコレニ就キテ極メテ簡單ナル裁斷ヲ與ヘシ。

予ハ前ニ良心ナルモノヲ以テ、正邪善惡ヲ判別シテ、行爲ヲ褒貶スルモノナル所以ヲ辯シタリ。此事ニシテ誤ラズトセンカ、予ハ實際上ニ於ケル良心ノ作用ヲ研究シテ、容易ニ上述ノ問題ヲ所決シ得ベシトノコトヲ斷言セント欲スルモノナリ。吾人ハ報酬ヲ得ンガ爲メニ溺者ヲ救フト、單ニ義務心ヨリ之ヲ救フトハ、縱令ヒ其結果ノ同一ナルニモセヨ、倫理上ノ價值ニ於テハ、大ニ異同アルコトヲ確認シツ、アルモノナリ。是レ實ニ吾人ノ良心ガ主トシテ、其意思ヲ重シ、ツ、アルモノニシテ、決シテ實現セル結果ヲ貴ヒツ、アルモノニアラザルヲ見ルベキモノトス。吾人ガ未

ダ結果ノ發生セザルニ當リテ、或ル行爲ヲ以テ善行トシ、他ノ行爲ヲ以テ惡行ナリト判斷スルコトアルガ如キハ、實ニコレガ爲メナルヲ見ルベキナリ。若シ然ラズシテ、其結果ヲ主トスベキモノナリトセバ、結果ナルモノハ必ズシモ常ニ意思ト一致スルモノニアラズシテ、從ヒテ單ニ意思ノミヲ見テ、其結果ヲ豫言スルコト能ハザルガ故ニ、結果ノ發生ハタル以上ニアラザルヨリハ、決シテ其行爲ヲ褒貶スルコトヲ得ベキノ理由ナキモノナルヲ知ルベキナリ。若シ論者アリテ、行爲ノ結果ナルモノハ、過去ノ經驗ニヨリテ推知スルコトヲ得ベキモノナルガ故ニ、單ニ其意思ノ何如ヲノミ研究スルトキハ、容易ニ其結果ヲ豫想スルコトヲ得ベキモノニシテ、從ヒテ結果ヲ主トシテ行爲ヲ判斷スルコトヲ得ザルノ理由ナシトイフモノアリトセシカコハ反リテ自滅的ノ所論タルヲ免レザルナリ。何トナレバコハ既ニ實現セル結果ヲ重ゾズルニアラズシテ、反リテ意思其自身ノ性質ヲ主トシテ、行爲ヲ褒貶セシコトヲ企ツルモノナレバナリ。サレバ意思ト結果トハ重キヲ孰レニ置クカトイハ、モトヨリ意思ナリト答フベキハ、決シテ疑フベキモノニアラザルナリ。然ラバ意思ニシテ已ニ賞賛スベキモノナラシニハ、何如ナル結果ノ生出スルコト

倫 理 學

倫 理 學

アルニモセヨ、吾人ノ良心ハ全クコレニ無頓着ナルヲ得ベキカト云フニ、コハマタ決シテ事實ナルニアラザルナリ。吾人ノ良心ハ、意思ヲ主トシテ、行爲ヲ褒貶シツ、アルハ事實ナリト雖モ、決シテ毫モ其結果ヲ顧慮スルコトナシトスルヲ得ザルナリ。溺者ヲ救ハント欲スルノ意思ヲ以テ行爲ヲナシ、能ク其目的ヲ達シタルト、マタ同一ナル意思ヲ以テ行爲ヲナシ、而モ其目的ヲ達スルコト能ハザリシトノ二個ノ場合ニ於テ、吾人ハ兩者ヲ以テ倫理上ニ於テ全ク同一ナル價值ヲ有シタルモノト認識シツ、アリトスルカ。否ナ、否ナ。決シテ、決シテ然ラザルモノナリ。吾人ノ良心ハ單ニ其意志ノミノ同一ナルヲ見ルニモセヨ、兩者ノ場合ニ於テ全ク同一ナル満足ヲ感シテ、コレニ同一ナル倫理的價值ヲ附セシコトヲ敢テセザルモノナリ。縱令ヒ前者ノ場合ニ於テハ、十分ナル満足ヲ感ズルコトアルヘキニモセヨ、後者ノ場合ニ在リテハ、決シテ斯クノ如クアルヲ得ザルモノナリ。自ラ惡事ヲナシタリト考フルガ如キコトナキハ萬々ナリト雖モ、其注意方法等ノ不完全ナリシガ爲メニ、十分ニ其意思ヲ成效スルコト能ハザリシヲ悔イ、其行爲ノ價值ガ前者ノ場合ヨリモ大ニ劣リタルモノナルヲ覺知スルニ誤ラザルモノナリ。夫レ斯クノ如シ、故ニ行爲ノ價

値ハ結果モマタ之ヲ其考案中ニ入レテ始メテ能ク決定セラルハモハナルヲ見ルベキナリ。

(四一四)

倫

理

學

予ハ今茲ニ其他ノ詳論ヲナスノ餘地ヲ有セザルヲ以テ他ハミナ諸氏ノ研究ニ一任スルコトトシ唯ダ左ノ如キ裁斷ヲ與フルニ止メントス。
行爲ノ價值ハ重キヲ意思ニ置キ結果ヲ以テ其參考トナシ始メテ能ク之ヲ決定シ得ヘキモノナリ。サレバ善意ヲ以テナセル行爲ハソノ何如ナル結果ヲ生スルノ別ナクミナ之ヲ善行ナリトスベキモノナリ。サレトモソノ生シタル結果ノ何如ンニヨリテハ善ノ程度ニ於テ全然同一ナリトスルコト能ハズシテ其價值ニ多少ノ異同アリトスベキハ勿論ナリト知ルヘシ。サレトモ結果ハ決シテ行爲ノ倫理的價值ヲ決定スヘキ主要ナルモノニアラサルカ故ニ縱令ヒ結果ノ有益ナルモノヲ生スルコトアリトストモ必ズシモ善行ナリトスベキニアラズ有害ナルモノヲ生スルコトアリトストモ必スシモマタ惡行ナリトスヘキニアラサルナリ。要ハ之ヲナシ人ノ意思ノ何如ヲ見テ善惡ナル價值ヲ附シ得ヘキモノニシテ其結果ニ至リテハ參考トナリテコレニ多少ノ増減ヲ與フルニ過キササルモノナリ。行爲ノ倫理的價

倫

理

學

値ヲ附スルニ當リテハ意思ト結果トノ位置實ニ以上ノ如クニシテ始メテ正當タルモノト知ルベキナリ。
然ラバ吾人が或ル意思ヲ贊シ他ノ意思ヲ難スル所以ノモノハ何ゾヤ嗚呼是レ他ナランヤ吾人が人ノ人タルニ必然的ナル造構ト境遇トヲ有シツアル以上ハ必ズ直接ニ之ヲ覺知シ得ベキ能力ノ存在シツアルニヨレルノミ。モトヨリ他ニ困難ナル理由ノ存スルニアラザルナリ。此事ニ就キテモ他ノ詳述ヲ與フベキ餘地ナキヲ以テ此一斷言ヲ遺シテ暫ク諸氏ノ推究ニ一任スルコトトス。
(七)意志ノ自由 意志ノ自由ハ之ヲ許サザルベカラズ之ヲ許サズンバ倫理的法典ヲ成立セシムルニ困難ナルモノナリ。若シ吾人ノ意志ニシテ他ノ決定力ヲ離レテ自ラ活動スベキ性質ナキ以上ハ吾人ハ自ラ倫理的法典ニ服従スルコト能ハザルガ如ク他物ヨリノ束縛ヲ被ルコトアリヤモ知ルベカラザルナリ。果シテ然ランニハ縱令ヒ吾人が倫理的法典ニ違反スルコトアルニモセヨ決シテ之ヲ非難シ去ルコトヲ得ベキニアラザルナリ。後悔ナルコトアルハ自ラ倫理的法典ニ服従シ得ベキ意志ノ自由ヲ有シタルニモ拘ラズコレニ服従セサリシコトノ不満足ナルヲ表

(四一五)

(四一六)
示スルモノナリ。人ニ罪過ノ責任ヲ負ハシムルハ、何ゾヤ。是レ唯ダ其人ガ有意的ニ倫理的法典ヲ蔑視シテ、コレニ違反シタルコトノ不可ナルコトアルヲ罰センガ爲メノミ吾人ハ實ニ意志ニ自由アルコトヲ許シテ、始メテ能ク倫理上ノ事ヲ解釋スルコトヲ得ベキモノナリ。

サレドモ以上ハ唯ダ普通一般ナル自由論ニ過ギズ、之ヲ精密ニ論辯スルトキハ、頗ル難澁タル問題タルベキヤ、モトヨリ論ナシ、サレバ古來ヨリノ自由論者ト雖モ、十分ニ之ヲ證明シ盡スコトヲ得ザリシモノ、モトヨリソノ當然ナルヲ見ルベシ。サレドモコレニ反對セル必至論者ト雖モ、必ズシモ十分ニ之ヲ擊破シ去ルコトヲ得ザリシハ、マタモトヨリ正確ナル事實ナリトス。予ハ今茲ニコレガ詳細ナル辯論ヲナシ得ベキニアラザルヲ以テ、唯ダ一二ノ注意スベキ事項ヲ記述シ以テ自由論ヲ探ルノ適當ナルコトヲ一言スルニ止メントス。

予ノ意見ハ意志ニ自由アリトノコトヲ許スベシトスルニ在リト雖モ、モトヨリ之ヲ絶對的ナル自由アリトスルモノニアラザルナリ。其故他ニアラズ。萬般ノ事物ハ毫モ外界ノ勢力ヲ被ラサルヲ得ルコト能ハサルモノナリ。各個人ノ意志ガ現ニ相

互ニ異同スルコトアルガ如キモ實ニ此事アルヲ明示シツ、アルニアラザランヤ。サレバソノ自由ナルコトト雖モ、吾人ガ自ラ自由ナリト確信スルニモセヨ其實ハ他ノ事物ト等シク、外界ノ勢力ニヨリテ多少必然的ナルモノトナレルモノナルベキハ、モトヨリマタ之ヲ許容セザルコトヲ得ザルモノナリ。狂者愚者ノ中ニ在リテハ、其心的作用ガ外界ノ勢力ニヨリテ、其常態ヲ失シタルモノアルヲ見ルモノナリ。サレバ此等ノ輩ニ在リテハ、必ズシモ其意志ニ自由ナルコトアリトスヘカラザルハ、決シテ之ヲ明證シ難キニアラザルナリ。斯クノ如クナルヲ以テ、吾人一般ノ意志ナルモノモ、種々ノ勢力ニヨリテ、爲メニソノ必然的ナル結果トシテ、其作用ヲナシツ、アルコトアリト考ヘ得ベキハ、モトヨリ不條理ナルコトニアラザルヘシ。然リト雖モ、如何ニ意志ガ必然的ナルコトヲ包含シツ、アルノ事實ナルニモセヨ、此物ニシテ已ニ各個人ノ意志トナリ、他ノ勢力ニヨリテ直接ニ支配セラル、コトナク自ラ隨意ナル撰擇ヲナシ得ベキコトノ實存スル以上ハ、之ヲ以テ自由ナリトイフモ、決シテ不可ナリトイフベカラザルベシ。予ハ單ニ吾人ノ意志ガ他ノ事物ノ必然的ニ動作スルト大ニ其趣ヲ異ニスルノ點ノミヲ以テモ、之ヲ自由ナリトイフノ實

ニ穩當ナルコトヲ認識スルモノナリ。

夫レ然リ。然ラバ、吾人ノ意志ハ、ミナ果シテ此自由ナルコトヲ有シツ、アルカ。予ハ茲ニ之ヲ明示スルノ頗ル困難ナルコトヲ告白セザルヲ得ザルモノナリ。何トナレバ此人ノ意志ニシテ自由ナリトイヒ得ヘキコトヲ證明スルニモセヨ。彼人ノ意志ニシテマダ是非トモ然ラザルベカラズトノコトヲ推斷シ得ベキモノニアラザレバナリ。又意志ニモ發達セルモノアリ、發達セザルモノアリ、マダ多少病的ナルモノナキニアラザルベシ。故ニ此等ノモノヲ以テ同一ニミナ自由ナリト論シ得ヘキニアラザルハ、モトヨリ當然ノコトト知ラザルベカラザルナリ。サレバ予ハ、吾人ノ意志ニシテ或ハ十分ニ自由ナリトイフベカラザルモノアラフコトハ、モトヨリ之ヲ許容スルニ躊躇セザルベシト雖モ、倫理ニ關スル普通ノ觀念ヲ有シタルガ如キ人ニ在リテハ、一般ニ自由ナルコトアリト許容スベキコトノマダモトヨリ正當ナルコトヲ信ズルモノナリ。何トナレバ自由ナルコトノ意義ニシテ前述セルガ如クナリトセバ、事實ニ於テモ之ヲ證明スルニ困難ナラザルノミナラス、各人自ラ其意志ノ自由ナルコトヲ信シ、甘シテ倫理上ノ賞罰ヲ被リツ、アルモ、マダ明ニ此事ア

ルヲ證シツ、アルモノナルヲ以テナリ。

之ヲ要スルニ、予ハ自由ナル語ニ關シテハ深ク拘泥スルノ要ナキヲ認ムルモノニシテ、吾人ノ意志カ自然界ノ諸物ノ必然的ニ働作スルト自ラ相違セル點ノ存スル以上ハ、之ヲ自由ナリトスルモ決シテ不可ナキコトヲ信ズルモノニシテ、已ニ此事アリトセバ、マダ倫理的法典ノ成立スルヲ見ルヲ得ベキガ故ニ、予ハモトヨリ自由論ノ辯護者タルコトヲ茲ニ明言スルニ畏縮セザルモノナリ。

本項ハ、自由意志論及ヒ必至論ト題シテ、二說ヲ對論シ、コレニ予ガ裁斷ヲ與フルヲ以テ適當ナリト信シタリト雖モ、簡約ヲ主トシタルガ爲メニ、單ニ自由意志論ヲノミ辯護スルニ止メタルモノナリ。故ニ必至論ノ可否如何ノ如キハ、諸氏ノ推シテ之ヲ考察セラレフコトヲ望ムモノトス。

(八)餘論 以上ノホカ、論辯スベキモノ猶ホ多々ナルベシト雖モ、茲ニハ予カ倫理學ヲ組織スルノ目的ニアラズ、マダ予ガ意見ヲ悉ク發表センコトヲ企圖スルモノニアラザルヲ以テ、今ハミナコレニ及バザリシモノト知ルベシ。唯ダ左ニ以上ニ於テ論述セザリシ二三ノ問題ニ就キテ、最簡ナル予ガ解説ヲ與ヘ、以テ本講義ノ完結ト

ナサント欲ス。

神ノ存在及ビ靈魂ノ不滅ハ、カント氏ガ意志ノ自由ト共ニ、之ヲ倫理上ノ公準トシタルモノニシテ、泰西人ノ倫理說中ニ於ケル重要ナル問題ヲナシツ、アルモノナリト雖モ、予ハ之ヲ以テ泰西ニ於ケル宗教的及ビ歴史的ナル問題ニシテ、單ニ純理ノミヲ以テ論辯シ得ベキモノニアラズシテ、實際上ニ於ケル倫理上ノ觀念ニ異同アルニ從ヒテ、人ニヨリテ其意見ヲ異ニスルヲ免レザルベシト信ズルモノナリ。故ニ予ハ前項ニ於テ自由意志論ニ就キテ一言シタルニモ拘ラズ、此等ノ事ニ就キテハ、特ニ予ガ意見ヲ吐露スルノ勞ヲ探ラザリシモノト知ルベシ。

倫理ハ之ヲ大別シテ個人的及ビ社會的ノ二種トスルヲ得ベシ。個人的倫理トハ、一個人ガ一個人トシテ當ニ爲スベキコトヲ爲シ、當ニ爲スベカラザルコトヲ爲サマルコト、即チ是レナリ。社會的倫理トハ、社會的生活間ニ於テ行ハルルモノニシテ、一方ガ他方ニ對シテ當ニ爲スベキコトヲ爲シ、當ニ爲スベカラザルコトヲ爲サマルコト、即チ是レナリ。倫理ハモトヨリ此等二種ノ外ニ出ヅベキモノニアラザルナリ。神ニ對スルコトノ如キニ至リテハ、神ナルモノニシテ我ニ對スル一個ノ他人ノ如ク見ルベキモノナリトセバ、之ヲ社會的倫理中ニ包含セシムルコトヲ得ベカルベシト雖モ、コハ神ノ解釋ヲ異ニスルニヨリテ、モトヨリ異說アルヲ免レザルベキヲ以テ、茲ニハコレガ論斷ヲ與ヘザルベシ。

倫 理 學

倫 理 學

ク見ルベキモノナリトセバ、之ヲ社會的倫理中ニ包含セシムルコトヲ得ベカルベシト雖モ、コハ神ノ解釋ヲ異ニスルニヨリテ、モトヨリ異說アルヲ免レザルベキヲ以テ、茲ニハコレガ論斷ヲ與ヘザルベシ。

個人的倫理ハ、之ヲ細別スルトキハ、種々ノ異類アルベシト雖モ、煩シキヲ以テコレガ詳說ヲ與ヘザルベシ。社會的倫理ハ、之ヲ仁愛及ビ正義ノ二者ニ區別スルコトヲ得ベク、仁愛ハマタ之ヲ細分シテ積極的及ビ消極的ノ二種トスルヲ得ベキナリ。此點ニ關シテハ、予ハスベンセル氏ノ區分ト全ク同一ナル意見ヲ有スルモノナリ。但シ茲ニ附言スベキハ、ソノ仁愛トイヒ、正義トイヒ、共ニ廣汎ナル意義ニ使用スルモノナルヲ以テ、他ノ諸氏が唱フル所ノ特殊ナル名稱ヲ有セル倫理ノ如キモ、ソノ個人的ナルモノニアラザル限りハ、ミナ二者中ノ孰レニカ包含セシメ得ルモノト知ルベキナリ。

論者アリ、個人的倫理トハ、吾人が特別ナル或ル一個人ニ對シテ當ニ行フベキコトニシテ、社會的倫理トハ、吾人が社會ヲ構成セル人ニ對シテ當ニ行フベキコトヲ云フニ在リ。故ニ一ノ行爲ハ、一方ヨリ見レバ、個人的倫理ナリト雖モ、他方ヨリ見レバ、

(四三二)
 社會的倫理トナレルモノナリ。從ヒテ二者ハ十分ニ相區別シ得ベキモノニテ、ラザ
 ルナリト辯スルモノアリ。又論者アリ世ニ個人的倫理ナルモノナシ。倫理ハミナ社
 會的ナルモノナリ。個人ノミナランニハ、モトヨリ倫理ナルコトナシ。安ソゾ個人的
 倫理ナルモノアランヤト説ク。予ハモトヨリ此等ノ所説ノ誤認ナルコトヲ明言ス
 ルモノナリ。サレドモ予ハ今茲ニ之ヲ詳論スルノ勞ヲ辭シ、予ガ嘗テ某雜誌ニ記載
 セシ詭辯論中ノ一節ヲ借リテ、予ガ意見ノ存スル所ヲ明ニスルニ止ムベシ。

此種の人士は個人的道德と社會的道德とを區別すること能はずといふ。予は其
 智力の鋭敏なるに驚き、又その精密なる研究を遂げられたることを謝せずんば
 あらざるなり。個人は社會を組成する一分子なり。故に個人に關したるものは、幾
 分たりとも、また社會に關したるものといふべし。從ひて個人的たることの社會
 的なること、區別しかたきの點あらんこと、もとより其説の如けん、また或る論
 者の如く、個人的とは絶海の孤島に獨居し、一分一釐だも社會なるものと關係を
 有せざるが如くなるをいふものにして、若し然らざらんには、悉く之を社會的
 なりといはざるべからずといふを以て、個人的なることの正解なりとせば、世の所

謂る個人的道德なるものも、また社會的道德なりとするを穩當なりといふべき
 に似たり。されども予は個人的なる語は必ずしも斯くの如く使用せざるべから
 ざるものにあらざして、また斯くの如く使用せられつゝありしものにあらざる
 ことを信ずるものなり。個人的とは、唯だ個人に關係あるものといふに止まり、他
 事に關係あるにもせよ、其關係が個人に關係あるに比すれば、殆ど絶無なるど一
 般なるが如くなるに於ては、明に之を個人的といふを得べきものなりと信ず。古
 より個人的なる語を使用し來りたるも、もとよ 此意に外ならざるを知るなり。
 然るを何ぞや、世の所謂る個人的といふが如きも、其實はみな社會的なり。此社會
 に於ては、決して個人的といふが如きことなし。從ひて個人的道德または社會的
 道德といふが如き語に至りては、予は殆ど其意義あるを見ざるなり。個人的道德
 といふが如きは、もとより此社會に於てあり得べからざるものなりと論ずるが
 如きものあるに至りては、もとより詭辯もまた甚しきものといはざるを得ざる
 なり。論者の意は、もとより世人を眩惑せんとするにあらざるや、萬々なるべしと
 雖も、世人或は之を誤認して、世の所謂る個人的道德なるものを否認すべきもの

と輕信するの惡果を生ずるに至らんこと、またこれなきを期すべからざるなり。
 詭辯の影響する所、豈にまた大ならずといはんや。

(四二四)

要スルニ、予ハ普通ニ一定セル語句ニ對シテ、一種偏僻ナル見解ヲ附シ、之ヲ本トシテ自家ノ奇說ヲ立ツルガ如キハ、モトヨリ之ヲ詭辯ナリト認定スルモノナリ。是レ予ガ前陳ノ如キ言辭アリシ所以ナリ。

利己及ビ利他ナルコトニ關シテハ古來ノ學者マタ種々ノ異說アルヲ見ル。予モマタコレニ關シテ多少ノ研究セルコトナキニアラズト雖モ、茲ニ之ヲ詳述スベキ餘地ヲ有セザルナリ。唯ダ左ニ予ガ嘗テ某雜誌ニ掲載セシ二者ノ解釋ヲ示シ、猶ホコレニ就キテ一言ヲ附加スルノ勞ヲ取ルニ止ムベキナリ。

予ハ利己と利他との二語のもとより區別すべきものなるを認む。利己は己を利する(己に便宜、利益、快樂等を與ふる)を主とし、利他は他を利する(他に便宜、利益、快樂等を與ふる)を主とするものなるを知る。或る行爲をなすに當りて、他を利することの隨伴することあるにもせよ、若し己を利せんとするが其本旨なるときは、之を利己の行爲といふべきなり。また或る行爲をなすに當りて、己を利すること

の隨伴することあるにもせよ、若し他を利せんとするが其本旨なるときは、之を利他の行爲といふを適當とす。されば利己といふは、他を利すると利せざるときは之を偶然のこととし、兎も角も己を利することを主とすることをいふものにして、利他といふは、己を利すると利せざるときは、之を偶然のこととし、兎も角も他を利することを主とすることをいふものなり。利己及び利他なる語を適當に解釋せんと欲せば、宜しく斯くの如くならざるべからざるなり。

以上ノ言ニシテ誤ラズトセバ、世ノ論者ガ往々此等ノ二者ニ關シテ誤謬ナル意見ヲ有シツ、アルノ極メテ明白ナルヲ見ルベキナリ。甲論者ノ言ニ曰フ、利己的行爲ト利他的行爲トハ、全ク相容レザルモノナリト。乙論者ノ說ニ曰フ、利他的行爲ハ、歸スル所利己的行爲タルニ外ナラザルナリト。多辯ヲ費スノ要ナキハ萬々ナリト雖モ、豈ニ一針ヲ試ミズシテ之ヲ放過スベクンヤ。

甲論者ノ言ハ、モトヨリ正當ナルモノトイフベカラズ。利己的行爲ト利他的行爲トガ其主トスル所ニ異同アルハ、前述セル所ニヨリテ明白ナリト雖モ、其行爲ノ丙包ニ至リテハ、マタ大ニ相一致セルガ如キモノナキニアラザルナリ。然ルヲ論者ノ如

ク漫然トシテ全ク相容レズト言ヒ去ルニ至リテハ。モトヨリ實事ヲ蔑視シタル謬說タルコトヲ免レザルモノトイフベシ、乙論者ノ說モ、マタ正當タルコトヲ得ザルモノナリ。已ニ利他的行爲トシ云ヘバ、他ヲ利スルコトヲ主トスルモノナリト雖モ、己ノ利害ニ至リテハ、之ヲ從位ニ立タシメテ顧ミザルモノヲ指セルニアラズヤ。故ニ或ル行爲ニシテ、已ニ利他的行爲ト稱スベキモノナル以上ハ、同時ニ之ヲ利己的行爲ナリト稱シ得ベキモノニアラザルヤ、予ガ前ニ定義セル所ヲ推シテ、モトヨリ判然タルベシト考フ。要スルニ此說ノ如キハ、唯ダ利他的行爲ガ利己的行爲ト多少ノ關係ヲ有シツ、アルノ點ヲ見テ斯カル速斷ヲナセルニ過ギザルモノニシテ、詭辯ノ一種タルヲ免レザルモノナリ。

乙論者中、其說ヲ辯護シテ、曰ヘルモノアリ。曰ハク利他的行爲ガ眼前現實ノ點ニ於テハ、利己的行爲ト相違シツ、アルヤ、モトヨリ論ナシ。サレドモ其利他的行爲ナルモノ、由リテ生シタル起原ヲ考フレバ、己ヲ利セントスルヲ目的トスルヨリ、之ヲナシタルモノナリト雖モ、遂ニ他ヲ利スルヲ以テ、現在ノ目的トシテ、之ヲナスニ至リタルモノナルヲ以テ、歸スル所之ヲ利己的行爲ナリトイヒテ、不可アルヲ見ザル

ナリト。此言理アルニ似テ、而モ不理ナルモノナリ。此說ノ如キハ、唯ダ吾人本來ノ性質ヲ以テ、單ニ己ヲ利スルコトノハ、カ何事ヲモナサハルモノトナセル獨斷上ニ於テノミ、其位置ヲ保有シ得ルモノニ過ギザレバナリ。サレドモ悲シイカナ、予ハ未ダ此種ノ斷言ヲナシ得ベキ確乎タル理由アルヲ發見スルコトヲ得ザルモノナリ。故ニ予ハマタ此說ニ左袒スルコトヲ得ザルモノトス。其詳論ノ如キニ至リテハ、モト

ヨリ茲ニ陳述スベキ餘地ヲ有セザルモノナリ。終ニ臨ミテ一言スベキモノアリ。倫理學ノ範圍ニ關スル問題、即チ是レナリ。學者中、倫理學ヲ以テ單ニ正邪善惡ナルモノヲ研究スルノミニアラズシテ、マタ勸善懲惡ヲ以テ其本務トナスベキモノナリト考フルモノアリ。是レマタ一說タルニ相違ナカラシ。何トナレバ、コハ唯ダ廣義ヲ以テ論理學ナル語ヲ使用セントスルニ過ギズシテ、モトヨリ學者タルモノ、意中ニ存シタルコトナレバナリ。サレドモ廣義ヲ以テ斯學ヲ解説シ、多少タリトモ倫理ナル語ト關係アルモノヲ以テ、ミナ此學中ニ於テ論ヲ得ベキモノトセバ、豈ニ獨リ此事ノミヲ包含セシムベキモノナランヤ。倫理ノ歴史ヨリ、學說ノ沿革ニ至ルマデ、マタ此中ニ入ル、モ、モトヨリ不可ナリトイフ

べカラザルベシ。サレドモ倫理ノ歴史ハ、之ヲ倫理史トシテ一科ヲナサシメ、學說ノ沿革ハ、之ヲ倫理學史トシテ、マタ一科ヲナサシムルニアラスヤ。サレバ勸善懲惡ノ如キ應用的ノコトニ至リテハ、之ヲ修身學トシテ、別ニ一科ヲナサシメンコト、極メテ適當ナル方法ナルニハアラザルカ。單ニ正邪善惡ヲ研究スルガ如キ理論的ノコトノミヲ以テモ、明ニ一科ヲ組成スルニ十分ナルモノナルガ故ニ、コレニ應用的ノコトヲモ包含セシメントスルガ如キハ、分化シ得ベキモノヲ強ヒテ分化セザラシメントスル僻說タルヲ免レザルモノナリ。從來泰西ニ於テ倫理學ト題セル書ヲ見ルモ、其書中ニ記述セル定義ハ、兎モ角モ、其内包ニ至リテハ、殆ド全ク理論的ノコトニノミ限レルモノニシテ、決シテ此種ノコトニ及ブコトコレナキモノナリ。故ニ予ハ斷シテ曰フ、倫理學トハ、單ニ人ノ行爲ノ正邪善惡ニノミ就キテ研究スルモノトスルヲ穩當ナリトスベキナリ。勸善懲惡ノ如キハ、之ヲ修身學ナルモノ、範圍内ニ屬セシムベキモノナリト。

倫理學大尾

終